

令和2年9月 高松市美術館 ～月間案内～

休館日/月曜日(ただし9/21(月・祝)開館、9/23(水)休館)
 開館時間 9:30～17:00まで。(特別展開催期間の金・土は
 19:00まで。入室閉館30分前まで)

日	曜	休館日	一般展示室	企画展示室	常設展示室		市民ギャラリー	イベント	
					常設展示室1	常設展示室2			
1	火		特別展 高松市美術館 コレクション+(プラス) 身体とムービング 7月23日(木・祝)～9月6日(日) 観覧料 【一般】800円(団体640円) 【大学生】500円(団体400円) 【高校生以下】無料		2020年度 第2期常設展				
2	水					常設展示室1 「New Collection ～現代アート編～」			
3	木								
4	金					照沼敦朗《ミエテルカー》2016年			
5	土					常設展示室2 「New Collection ～漆芸編～」			
6	日								
7	月	休	特別展 世界が絶賛した浮世絵師 北斎展  葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》 9月12日(土)～10月18日(日) 観覧料 【一般】1,000円(前売・団体800円) 【大学生】500円(前売・団体400円) 【高校生以下】無料		東京2020 オリンピック パラリンピック 競技大会巡回展 「ポスター展示」 9/8(火)～9/13(日)		特別展講演会 (講堂)		
8	火					池内荷芳《蒔醬 金魚文小箱》 撮影:高橋章			
9	水					6月27日(土)～9月22日(火・祝)			
10	木					観覧料 【一般】200円(団体160円) 【大学生】150円(団体120円) 【65歳以上/高校生以下】無料			
11	金					SOBHANI PRODUCE シルクロード展 9/15(火)～ 9/22(火)			
12	土					特別展解説会 (講堂)			
13	日		特別企画 飯川雄大デコレータークラブ ー知覚を拒む 7月23日(木・祝)～10月18日 (日) 場 所 1階エントランスホール他 観覧料 無料		特別展講演会 (講堂)				
14	月	休				特別展解説会 (講堂)			
15	火					特別展解説会 (講堂)			
16	水					特別展解説会 (講堂)			
17	木					特別展解説会 (講堂)			
18	金					特別展解説会 (講堂)			
19	土				特別展解説会 (講堂)				
20	日					特別展解説会 (講堂)			
21	月	敬老の日				特別展解説会 (講堂)			
22	火	秋分の日				特別展解説会 (講堂)			
23	水					特別展解説会 (講堂)			
24	木					特別展解説会 (講堂)			
25	金			特別展解説会 (講堂)					
26	土				特別展解説会 (講堂)				
27	日					特別展解説会 (講堂)			
28	月	休				特別展解説会 (講堂)			
29	火					特別展解説会 (講堂)			
30	水					特別展解説会 (講堂)			



日	曜日	行事予定	常設展示室	企画展示室	次回企画展
1	火		<p>第Ⅱ期常設展 リズムを奏でる作品たち 8月22日(土) ～12月6日(日)</p> <p>本展では、画面に描かれた色彩、線、形などからリズムが感じられる作品を紹介します。 主な出品作家の一人、川島猛(香川県出身)は、単純化された形とシンプルな色で表現した「ブルー&ホワイト」シリーズの中で、画面にリズムカルな音階を生み出しました。また、色彩によるリズムを追求した江戸健(香川県出身)の作品からは、叙情的、精神的なイメージの世界が広がっています。そして、広瀬富美(香川県出身)の書の作品は、のびやかで流麗な表現が、日本固有の文字である「かな書」の魅力伝えていきます。 作家それぞれのアプローチにより生み出される、多様なリズムが奏でる作品約20点を体感しお楽しみください。</p>	<p>企画展 こころの奥にある風景 -原風景を訪ねて- 8月18日(火) ～9月22日(火・祝)</p> <p>当館のコレクションの中から、様々な素材や表現方法で制作された、だれもが持つ“こころの故郷(ふるさと)”へと立ちかえり、懐かしい感情に誘われる作品約20点を紹介します。ご自身の原風景を思い起こし、重ね合わせながらお楽しみください。</p>	<p>岩とイワ 9月29日(火) ～11月8日(日)</p> <p>陶芸家及川みのる(香川県在住)と写真家上樂博之(神奈川県在住)による二人展です。</p> <p>及川は、2012年に茨城県から香川県に移住、陶土による陶彫作品を制作しています。人は自然の前では無に等しいと感じる及川は、自然との向き合い方、共生する生き方を制作に生かしてきました。</p> <p>上樂は、自然への畏敬の念を抱いて、自然を被写体に対峙しています。撮影には、雄大な自然の中に自分自身の身を置き、そこに確かに存在している古層の光を肌で感じ、撮影をしています。</p> <p>本展を通して作家たちは、私たちがこれから迎える未来が明るいものであるように、鑑賞者から思わず笑顔がこぼれ、明日への希望を繋げることが出来るものとするを願って開催するものです。</p>
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日				
7	月	休館日			
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日				
14	月	休館日			
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土	陶芸教室			
20	日				
21	月	敬老の日			
22	火	秋分の日			
23	水	休館日			
24	木				
25	金				
26	土	陶芸教室			
27	日				
28	月	休館日			
29	火				
30	水				



《岩山牧羊の歌》
 広瀬富美 1999



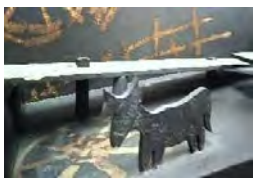
《July24》1989
 川島 猛



《動くリズム》
 江戸健 2005



《談古嶺の夏(屋島)》
 奥村厚一 1952



《春の径》 山下晴義 1995

展示替えのため休室

企画展 **岩とイワ**
 9月29日(火)～11月8日(日)

観覧案内

●常設展・企画展共通
 一般 300円
 大学生 150円



※20名以上の団体料金
 一般 240円
 大学生 120円

高校生以下、65歳以上、障害者手帳等をお持ちの方、高松市キャンパスメンバーズ制度加盟大学等の学生は、観覧料が無料になります。
 受付にて、証明書をご提示ください。

●開館時間
 9時～17時
 (入館は16時30分まで)
 ●休館日：月曜日
 (祝日の場合は開館、翌日が閉館)

